

令和3年度政策の展開方針(案)

令和2年12月 北海道

I 基本的考え方

全国的に新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中、道民の命と暮らしを守るため、感染の抑え込みや拡大防止に取り組むとともに、道民の理解と協力のもとで、感染症に強く誰もが安心できる地域社会を構築する。

その上で、コロナ禍において顕在化した都市一極集中への懸念やサプライチェーンの脆弱性、さらには、デジタル化や脱炭素化といった社会変革の兆しを的確に捉え、「ピンチをチャンスに」「ハンディを強みに」「強みを成長エンジンに」という発想の下、ポストコロナ時代を見据えた政策を積極的に推進することにより、本道を再び成長軌道に乗せながら、新たな未来を切り拓く北海道づくりを進めていく。

II 政策検討の視点

1. 現下の危機克服への対応

新型コロナウイルス感染症への対応に万全の対策を講じつつ、社会経済活動との両立に取り組み、感染症に強い社会づくりにつなげる。

2. 北海道創生の加速

人口減少や少子高齢化など避けることができない課題に真摯に向き合い、道民はもとより北海道を応援する幅広い方々との連携・協働により、地域の活力の底上げを図る。

3. 社会変革の動きを捉えた政策展開と成長への投資

コロナ禍における社会変革の動きを踏まえ、ポストコロナ時代の北海道を見据えた政策を展開する。その際、これまで本道のハンディと捉えられてきた「広域分散」「距離」「寒さ」といった特性についても強みに転換していく。

4. 我が国の持続的発展への貢献

本道がもつ価値や強みを最大限に発揮し、食料の安定供給や都市一極集中の是正、地球温暖化への対応など、我が国の持続的発展に貢献する。

Ⅲ 重点政策の方向性

上記の「基本的な考え方」及び「政策検討の視点」を踏まえ、次に掲げる政策の方向性に基づき、施策の具体化に向けた検討を進める。

1. 現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築

(政策の方向性)

- ▶ 北海道スタイルの定着促進と感染防止対策の徹底
- ▶ 相談・検査・医療提供体制の一層の整備
- ▶ 事業継続や就業機会の確保など経済への影響対策の実施
- ▶ 学びの機会や生活基盤の確保と道民の健康づくり

2. ポストコロナ時代の新たな未来を切り拓く北海道づくり

(1) 「広域分散」「距離」のハンディを強みに転換し、活力ある地域を創る

(政策の方向性)

- ▶ デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進による「北海道 Society5.0」の実現
- ▶ 多様な主体との連携・協働による企業や人材の誘致促進

(2) 次世代を見据え、心豊かに暮らし続けられる北海道づくりを加速する

(政策の方向性)

- ▶ あらゆる政策を動員したカーボンニュートラルへの挑戦
- ▶ アイヌ政策の推進と縄文文化など地域資源の魅力発信
- ▶ 発展基盤となる交通ネットワーク形成と災害に強い北海道づくり
- ▶ 次代を担う人材の育成と誰もが能力を発揮できる社会の実現

(3) 本道の強みを最大限に活かし、国内外の需要の再獲得につなげる

(政策の方向性)

- ▶ 徹底した感染防止対策による東京オリンピック札幌開催の成功とインバウンドの再獲得
- ▶ 道産食品の輸出拡大や農林水産業の付加価値向上など新たな市場への展開

IV 政策検討に当たっての留意事項

1. 施策の徹底した見直し

かつてない厳しい財政運営が見込まれることを踏まえ、スクラップアンドビルドを基本に新規・拡充等の施策を構築する。

2. 公約の着実な推進

知事公約の推進状況を的確に把握し、重点化すべき分野や施策の方向性を絞り込み、公約の着実な推進につなげる。

3. 施策間連携の強化

各部局や振興局においては、相互の連携を取りながら、関連する施策について一体的に検討を実施し、施策間の相乗効果の向上を図る。

4. 民間、市町村との連携強化

民間の知恵やノウハウ、資金力を活用しながら、政策効果を意識した検討を進める。その際、企業版ふるさと納税やクラウドファンディングなども含めた民間資金の活用手法を柔軟に検討する。また、幅広い分野において市町村との連携を進める。

5. 国の施策や予算の効果的活用

「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」や「新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金」をはじめ、国の施策や予算を効果的に活用すべく、国の総合経済対策等との連携や整合性に十分留意して政策検討を行う。